



## より静かに

大河木曾は静かに流れています。

その流れに並行して湊屋も静かにその歴史を重ねていきます。

けたたましい発展、変化を望まない湊屋です。どこまでもアナログの空気感でより日本的な落ち着きを守ることこそ湊屋の使命ですから。デジタルなスピードは私の心を貧しく荒んだ方向に追いやって息苦しくさせます。そこまで急いであわただしく進めなくてはならない理由は何でしょうか。落ち着いて反省をしたがよろしいのでは。

買物は一切現金で、諸々のカードは最小限、携帯電話は今でもガラ携の私です。

それでも何ら不自由を感じておりません。この領域はいつの世まで通じるのでしょうか。時流からすっかり蹴散らされた私はこの世界をつらぬいて生きていくことしか出来ません。

何においても本質さえ心得ていればこの姿勢も立派に通用していくものと信じております。

今年も静かにユックリと歴史を刻むことにしました。

大島八重子

「百人一首を語る」 令和3年3月31日(水) 10:00～ 於：湊屋

## 黒髪の歌 百人一首歌人を起点にして

黒髪を妖艶に歌った歌は意外に少ないのです。古今和歌集や後撰和歌集には1首もありません。拾遺和歌集には3首ありますが、いずれも万葉集から撰ばれました。

今回は百人一首歌人、柿本人麻呂・和泉式部・待賢門院堀河・藤原定家を起点に、江戸時代の与謝蕪村、明治時代の島崎藤村・与謝野晶子・山川登美子・若山牧水そして昭和・平成の歌人河野裕子と現在活躍中の俵万智を取り上げ、黒髪の歌の流れを追いたいと思います。黒髪はこれまで日本女性の永遠の象徴でした。たぶんこれからも。歌人や俳人・詩人たちにとっても永遠の課題です。一首だけ紹介します。

和泉式部「黒髪の乱れも知らずうちふせば

まずかきやりし人ぞ恋しき」

最初に和泉式部の髪を搔いた相手の男性は誰なのでしょうね。また、和泉式部は何歳の頃この歌を歌ったのでしょうか。恋多き和泉式部は夫がありながら親王兄弟と関係を持ちました。親王とは天皇の子供で男子のことですから大変なスキャンダルです。しかも兄弟とです。どうやら他にもいろいろあったようですが詳細は不明です。想像力が必要です。

彼女を起点にして黒髪の歌は激しく歌い繋がれてい

きます。現代に至るまで。易しく解説します。どうぞお越してください。



## 冬 枯 れ

冬は庭の草をぬかなくていい。樹木は葉を落として幹を見せ、どこまでも静かな雰囲気をかもし出して冬枯れの美しい風景を私達に見せてくれる。この世界は、激しく萌え生い繁る春から夏の手入れの結果である。

日時を決め全員揃って草を取る作業は辛いけれど、こうした庭を眺めているとその達成感を大きく感じる。ほんの目立たない努力こそが、今後の方向へ導いてくれることを信じて私達は今年も励む。

## 暖はごちそう

冷たくぶるぶるふるえる寒い空間は多くを疲弊させる。

正月過ぎてやってくる寒波は豪雪を呼んで被害をもたらす。

電気の力なくして生きていけない私達は停電における悪影響に弱く立ちすくむだけである。快適に生活することが当たり前になった今日において余りにみじめな結果を呼ぶ。

私達はこうした自然災害にあたふたとするけれど、遠き100年くらいの昔においてはこうでなかったのではないかな。

当時の暖房へのエネルギーは、薪、石炭、木炭であった。トイレも汲み取り、灯かりはローソク等であるから、現代ほどあわてなくてもよい。

穀物と味噌醤油さえあれば、しばらくの生活には困らなかったであろう。

ゆったりとした余裕ある生活は心を温かくしてくれる。



湊屋  
トピックス

<<令和3年度より祝日営業いたします>>

問い合わせ・予約 茶店・湊屋 ..... 080-4224-3733

☆2月17日(水)・3月17日(水)天ぷらの集い	12:00~	2,000円
☆3月3日(水)雛祭り・会食と大島八重子の歌と語り	11:00~	2,500円
☆3月31日(水)百人一首を語る 伊藤孝男氏	10:00~	2,500円
☆4月4日(日)花見弁当と田楽 大野栄閨江戸小咄	10:00~	2,500円
☆4月10日(土)野田寿子ジャズライブ 食事 11:30~	受付 13:00~	2,000円
☆4月24日(土)湊屋貸切芝居公演 第一回 11:00~	第二回 16:00~	3,000円
☆4月25日(日)湊屋貸切芝居公演 第一回 11:00	詳細チラシ有り	3,000円

予約  
販売

恵方巻 1月31日(日)・2月2日(火) 500円  
湊屋弁当 2/14(日)2/27(土)3/14(日)3/27(土)4/11(日)4/17(土)